

対象	小学校高学年以上
教科	国語科
該当 単元	小学6年 「熟語の成り立ち」 ・ 漢字二字の熟語 ・ 漢字三字の熟語 ・ 漢字四字以上の 熟語
教科書	光村図書等
掲載日	2018.5.12. 朝刊 12版 1面

問1：この記事の見出しに使われている漢字から三文字熟語を書き出しましょう。

- ()
- ()
- ()

問2：見出しに使われている二字熟語の中から、「似た意味の漢字の組み合わせ」からできているものを書き出しましょう。

- ()

問3：見出しに使われている二字熟語の中から「意味が対になる漢字の組み合わせ」からできているものを書き出しましょう。

- ()

発展：見出しだけでなく記事も含めて使われている漢字から、Aの成り立ちでできている熟語とBの四字以上の熟語を書き出してみましょう。

A：先の漢字が後の漢字を修飾する関係

B：漢字四字以上の熟語

安保法成立直後

安全保障関連法が成立した直後の二〇一五年九月に開かれた防衛相直轄の会議用資料に、安保法に基づく国連平和維持活動（PKO）の新任務により「戦闘を伴う任務遂行」の可能性が高まると記されていたことが、十一日の国会審議で明らかになった。政府は、新任務で隊員の武器使用の権限を拡大しても「リスクは下がらぬ」（安倍晋三首相）と説明してきたが、内部では隊員の戦闘関与を懸念していた。

国会で示されたのは、陸上自衛隊の陸上幕僚監部が二〇一五年九月二十八日付で作成した「陸幕施策等説明」という文書。防衛相直轄の「部隊長会同」という会議の資料として使われた。会議は安保法が成立した同十九日の直後に開かれた。

PKO新任務「戦闘」懸念

防衛省資料 政府説明と矛盾

安保法の「リスク」を巡る 政府説明

2015年

9月19日 安全保障関連法が成立

↳ 平素から訓練が可能になる。リスクは下がる（15年7月のネット番組で安倍晋三首相）

28日 防衛相直轄の「陸自部隊長会同」を開催

↳ 国際任務における権限拡大による戦闘を伴う任務遂行の可能性増大（共産党が要求した資料）

16年

7月8日 南スーダンの首都ジュバで「戦闘」発生

11月15日 南スーダンPKO派遣部隊に駆け付け警護などの任務付与

↳ リスク低減につながる（同19日、当時の稲田朋美防衛相）

18年5月11日 資料の存在が明らかに

た。PKOの新任務による戦闘関与の懸念は「将官教育の方向性」という表題のペーシに記され「他国と連携した戦闘を伴う任務遂行、現場指揮官による説明責任遂行の可能性増大」と指摘した。

【活用にあたって】

国語の指導書などには「熟語の成り立ちを知ることは、熟語を構造的に認識する能力を伸ばすだけでなく、言葉の理解を促し、熟語の使用や習得をより効果的に行わせることにつながっていく」といった記載がみられます。

そのために学習を進めるのですが、6年生にもなると児童各自の漢字の理解度に差が生まれていることが多いので、目標達成には工夫した指導が求められると思います。

頭の中で考えるのではなく記事から探すことで、どの児童も同じように学習活動ができるという良さがあります。どんな成り立ちでできた熟語であるかという判断は、辞書を活用したり仲間と話し合ったりしていくことで仲間と関わりながら進める主体的な学びにもつながると思います。

解答例

問1 : 新任務 ・ 安保法 ・ 防衛省

問2 : 戦闘

問3 : 矛盾

発展 : A 直後 内部 国会 成立 他国など

B 安全保障関連法 国連平和維持活動

国会審議 陸上自衛隊 現場指揮官など